臺灣日日新報 (木曜日) 昭和十五年五月十六日 (第一種) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 第一万四千四百二十二號

臺灣昌新民報 夕刊

五月十五日 夕刊定価一部二銭 (大阪西区阿波座上通三ノ十 大阪支局) (東京市芝区三田綱町四ノ一 東京支局) 臺灣新報社 (臺北市榮町四丁目廿番地 臺北支局) 臺中支局 花蓮港支局 臺南支局 高雄支局 印刷人 佐々木喜 印刷所 臺灣日日新報社 (臺北市榮町四丁目廿番地)

複寫紙 日章 TRADE MARK NISSHO

獨軍猛然佛領に進入
大會戰の火蓋切らる
ミユーズ河岸一帶

【パリ十四日發同盟】十四日前線よりパリに達した情報に依ればベルギー戰線のドイツ軍は十三日正午頃より相次でリエージュ、セダン間五十粁ミユーズ河岸一帶に進出、十四日に入り遂に融合軍、ドイツ軍團に激烈な大會戰の火蓋が切られた

【パリ十四日發同盟】パリに達した情報によればベルギー戰線のドイツ軍は十四日遂にルクセンブルク方面よりフランス領内に殺到、且下セダン、ロングウイ兩地では激烈な市街戰が行はれつつある

ジヴェ、セダンを獨占領
ベルギーより猛進中のドイツ軍は十四日夜ベルギー領ディナン、佛領ジヴェ及びセダンの各要衝を相次で占領した

【ベルリン十四日發同盟】ドイツ軍は突破口を擴大して佛領に進入、セダン、ロングウイなどは今や大戰が行はれて居るが目下ドイツ軍の作戰としては戰線に主力を追つて居り、西部方面にてはアルダンヌ地方から佛領セダンにかけて敵が縦横無盡の築城陣地を構築して居るらしく佛領兵部隊の支援を得たベルギー軍も之が突破に全力を擧げて居るものの如くである、即ち南北方に延びて居る大部隊を主力として戰ふとも一面戰線より發達せる機械化部隊がセダン、セダン間のミユーズ河の線に沿ひ

不滅の武勳輝かし
郷土に晴の歸還
驛頭に家族と感激的對面

太鼓の響に感激する張三郎が歸還
不幸の報をうち消した林、山口兩勇士
歸還した四〇日目戰場から
歸還した、歸還を喜ぶ故郷に
に迎へられて懐しの郷土に凱旋
歸つた勇士たちは感慨

歸還の朝に感激する家族と歸還勇士
歸つた勇士をそこかしこに
けた歡迎の大幟が
歸還した感激に
歸還を喜ぶ故郷の
に迎へられて懐しの郷土に凱旋
歸つた勇士たちは感慨

（臺北市）步一 張三郎（故）
（臺北市）步一 林部隊
（臺北市）步一 山口勇（故）
（臺北市）步一 李孝
（臺北市）步一 阿
（臺北市）步一 今井
（臺北市）步一 花園
（臺北市）步一 奥
（臺北市）步一 三
（臺北市）步一 矢
（臺北市）步一 南
（臺北市）步一 矢
（臺北市）步一 江
（臺北市）步一 三
（臺北市）步一 三
（臺北市）步一 三

婦人と家庭

叱り方の反應

興味深い千二百人の調査

青木誠四郎

千差の時期から青年期へかけての男女を對象として、子供の叱られつつある場面を觀察しますが、親と子、先生と生徒といふ二つの關係を觀察の上に置き、叱る方と叱られる方とに分けて、叱られた場合の感じ方を調べます。

叱責の種類と順序

親や先生などの、目上の者が子供に對する叱責の種類を多い順にならべてみますと

一、感じしくさとす態度
二、感じしく叱つて態度を改ひさせるもの
三、感じしくするものにて、次が「皮肉」と「嫌味」です。

叱り方

父親に怖じてきかせるのと、感じしく叱るのが比較に多く、母親に言つてきかせるのが多いが、父親に比べると母親といふ感じが目立つて多く、

一、まる怒り、もう呆れ返つてゐるといふ態度を取るもの
二、感情的な表現をもつ場合だと思はれるもの

三、初めは何クソと思ふが、後にな つて感じ入るもの

四、一方でたゞと思ふが、腹が立つて家族が何時も叱り加減者

叱られた子供の態度

叱られた後に感じて子供がどんな態度をとるかを調べますと

一、まる怒り、もう呆れ返つてゐるといふ態度を取るもの
二、感情的な表現をもつ場合だと思はれるもの

三、初めは何クソと思ふが、後にな つて感じ入るもの

四、一方でたゞと思ふが、腹が立つて家族が何時も叱り加減者です

叱られた子供の態度

叱られた後に感じて子供がどんな態度をとるかを調べますと

一、まる怒り、もう呆れ返つてゐるといふ態度を取るもの
二、感情的な表現をもつ場合だと思はれるもの

三、初めは何クソと思ふが、後にな つて感じ入るもの

四、一方でたゞと思ふが、腹が立つて家族が何時も叱り加減者

叱り方とその結果

叱り方がどんな態度を現はすかを調べますと

イ、まる怒りされることに對しては、感情的に言ひ方を變へるか、母親に言つてきかせるかの大部分だが、感情的な表現をするものもある

ロ、言つてきかせる叱り方は前よりも感情的な態度になつて反抗するものが少し

ハ、感じしくと感情を態度をとるものは次り返つて反抗するものや、感じしくとさとす叱り方には素直に應ずるものが多い

初めは感じしくするものなどと出て

五、まる怒りに對しては不平をそうで反抗的態度を現はすもの

六、感情的態度に出して初めに反抗をするもの

といつたにおります

叱り方とその結果

叱り方がどんな態度を現はすかを調べますと

イ、まる怒りされることに對しては、感情的に言ひ方を變へるか、母親に言つてきかせるかの大部分だが、感情的な表現をするものもある

ロ、言つてきかせる叱り方は前よりも感情的な態度になつて反抗するものが少し

ハ、感じしくと感情を態度をとるものは次り返つて反抗するものや、感じしくとさとす叱り方には素直に應ずるものが多い

初めは感じしくするものなどと出て

五、まる怒りに對しては不平をそうで反抗的態度を現はすもの

六、感情的態度に出して初めに反抗をするもの

といつたにおります

叱り方とその結果

先生に對して感じしく叱ると反抗がなくその反抗に無關心が增してきかせる時は反抗が增してゐます。これは叱り方にも關係のあるのは勿論ですが、これは叱り方にも關係のあるのは勿論ですが、これは叱り方にも關係のあるのは勿論ですが、

星そら (45)

……上原上談話筆記……

井伏鱒二
小林秀恒

水上温泉(九)

「いよいよ明日は、谷川岳に登るという日になりました……や、僕の悪い川端を歩いて一緒に乱酔しました。どうも杉野記者には小説工をされすぎたやうに思はれて、お湯あがりでも気分はさっぱりしようもなかった。ぶりぶりしながら、部屋にはいったのである。

トシコは風呂やの前に集る井仕事ひとして、食堂に並んで新聞を読んでゐる。僕く口和をつけ難手に化粧しつゝある女、彼女は老人のお供でなく、独りで湯に来るために、そんなに若々しく化粧したものであらう。それがまた温泉気分をそゝるのである。

「何だか少し赤い口紅だな……いかにも、牛肉の色のやうだ」

「温泉気分にそんな風の批評を口にするトシコに驚く口を持つて居ないと、僕は思ひました。

「お前は、僕と共に出歩くときは化粧を慎むやうにしろ。それなのに、独りのときは化粧する……まるで僕に、老人だと思ひ知らせやうなものだ……ならばと僕は老人だ」

それは誰でではなく、風呂になつた。

「だが、それもよい。口紅は落くても消えても、どうでもよいが……今日お前は、踊つてはいかんと、さういふ約束をした。これは何かに、僕の許可でありたい」

「踊りには、許可無しに」

と呼びすてにした。それでトシコは驚きあげ、温泉民の視線をあつめてゐる踊を見た。

温泉民は驚を立てたときの様でクンクンと鼻を鳴らした。

「まるか僕は、杉野記者がこれほどまで物分に出るとは思はなかつたもう僕は、あの人間を信頼せん。一郎が風邪ちゃ。今度だけは、僕は温泉されたやうな風をしておくがお前も悟と共に、驚されたやうな風をして居きなさい」

トシコは温泉民の視線が強いので、びくびくものであつた。この老人はいつたい何りだらう、彼のものに許嫁なる仕を云ひつけるおそれがある。日頃トシコは、会社でそれを見てよく知つてゐる。

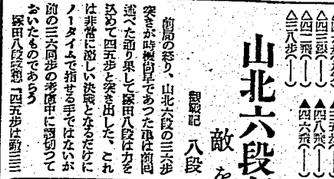
「よいか、お前にこつくが……今晩のところだけで、杉野記者に愛想よくしなくてはいかん。驚されたやうにした方が、すなはちこちらの勝つたことになる」

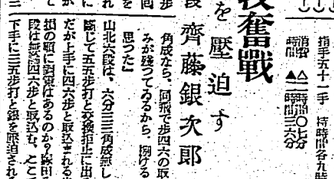
トシコは二もなく頷いた。

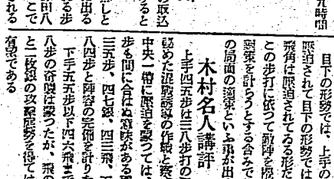
スタと歩もうかず、驚者のやうに思つてゐた僕は驚に驚び、椅子の姿をはね飛ばして温泉民は一目一目と左右に大きく驚きを見せて来ます

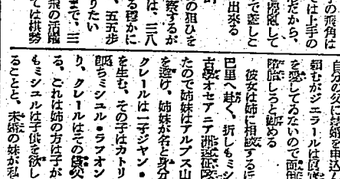
最初は驚れて居つて曲つた姿勢もちつとも直らない。この花は、彼得かと思はれるこの花は、もとは女郎が風呂にさしてゐたもので、また明日もく驚があるといふ意味を切つて次の間へ驚ると、比較的大きく咲かせることが出来ます。まことに旦那風呂かかるこの花なればこそ此の間、ひろく大勢から愛せられるわけであります

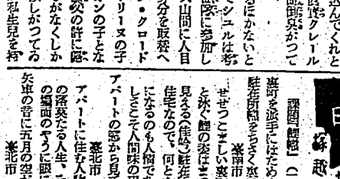
温泉の明る朝なに咲きかへて高貴の方のお供にも驚されるこの花、もとは女郎が風呂にさしてゐたものであります。彼得時代にありませうかうかすれば、前我國の温泉と呼んだのは温泉のことでありました。平安朝以後現はれた花は紅、白、黄に驚られてゐたやうです。その他の色彩も、或は縞り、絞りなどの類が極く出来たのは徳川中世以後で、今日のやうな美しいものでありません。

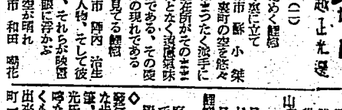












本社主催 特供高段者対抗戦

山北六段奮戦

敵を壓迫す

観戦記 八段 齊藤銀次郎

角成なら、同飛で四六の取込突きが時機尚早であつた事は同氏迄へ通り果して藤田八段は第三図成駒に切り取られ、第四図の三六同歩成にはノータイムで指すまではないが第四の三六同歩の考慮中に頭切つておいたものであらう

藤田八段(振駒)　塚田正夫▲八段　山北孫三郎

(第十八局ノ五)　(第三六図銀当の局面)

手番　(持駒)歩　(山北(後手))

△四五歩(一)　▲五五歩(六分)
△四六歩(九分)　▲四五歩(一)
△四二飛(一)　▲四六歩(一)
△三八歩(一)

塚田氏二回勝三回目

持時間五十手　持時間各九時間

△二一香　▲二三歩
△二二歩　▲二四歩
△二三歩　▲二五歩
△二四歩　▲二六歩
△二五歩　▲二七歩
△二六歩　▲二八歩
△二七歩　▲二九歩
△二八歩　▲三七歩
△二九歩　▲三八歩
△三一玉　▲三九歩
△三二金　▲四八銀
△三三銀　▲四七歩
△三四歩　▲四六歩
△四三銀　▲四五歩
△四四歩　▲四四角
△四五歩　▲四五歩
△四六歩　▲四六歩
△四七歩　▲四七歩
△四八歩　▲四八歩
△四九歩　▲四九歩
△五一玉　▲五一玉
△五二金　▲五二金
△五三桂　▲五三桂
△五四歩　▲五四歩
△五五歩　▲五五歩
△五六歩　▲五六歩
△五七歩　▲五七歩
△五八歩　▲五八歩
△五九歩　▲五九歩
△六一香　▲六一飛
△六二銀　▲六二銀
△六三歩　▲六三歩
△六四歩　▲六四歩
△六五歩　▲六五歩
△六六歩　▲六六歩
△六七歩　▲六七歩
△六八歩　▲六八歩
△六九歩　▲六九歩
△七一香　▲七一桂
△七二歩　▲七二歩
△七三歩　▲七三歩
△七四歩　▲七四歩
△七五歩　▲七五歩
△七六歩　▲七六歩
△七七歩　▲七七歩
△七八歩　▲七八歩
△七九歩　▲七九歩
△八一香　▲八一桂
△八二歩　▲八二歩
△八三歩　▲八三歩
△八四歩　▲八四歩
△八五歩　▲八五歩
△八六歩　▲八六歩
△八七歩　▲八七歩
△八八歩　▲八八歩
△八九歩　▲八九歩
△九一香　▲九一桂
△九二歩　▲九二歩
△九三歩　▲九三歩
△九四歩　▲九四歩
△九五歩　▲九五歩
△九六歩　▲九六歩
△九七歩　▲九七歩
△九八歩　▲九八歩
△九九歩　▲九九歩

手番　(持駒)歩　(山北(後手))

△四五歩(六分)
△四六歩(九分)
△四二飛(一)
△三八歩(一)

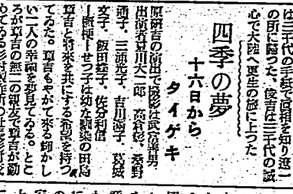
▲五五歩(六分)
▲四五歩(一)
▲四六歩(一)

△二一香　▲二三歩
△二二歩　▲二四歩
△二三歩　▲二五歩
△二四歩　▲二六歩
△二五歩　▲二七歩
△二六歩　▲二八歩
△二七歩　▲二九歩
△二八歩　▲三七歩
△二九歩　▲三八歩
△三一玉　▲三九歩
△三二金　▲四八銀
△三三銀　▲四七歩
△三四歩　▲四六歩
△四三銀　▲四五歩
△四四歩　▲四四角
△四五歩　▲四五歩
△四六歩　▲四六歩
△四七歩　▲四七歩
△四八歩　▲四八歩
△四九歩　▲四九歩
△五一玉　▲五一玉
△五二金　▲五二金
△五三桂　▲五三桂
△五四歩　▲五四歩
△五五歩　▲五五歩
△五六歩　▲五六歩
△五七歩　▲五七歩
△五八歩　▲五八歩
△五九歩　▲五九歩
△六一香　▲六一飛
△六二銀　▲六二銀
△六三歩　▲六三歩
△六四歩　▲六四歩
△六五歩　▲六五歩
△六六歩　▲六六歩
△六七歩　▲六七歩
△六八歩　▲六八歩
△六九歩　▲六九歩
△七一香　▲七一桂
△七二歩　▲七二歩
△七三歩　▲七三歩
△七四歩　▲七四歩
△七五歩　▲七五歩
△七六歩　▲七六歩
△七七歩　▲七七歩
△七八歩　▲七八歩
△七九歩　▲七九歩
△八一香　▲八一桂
△八二歩　▲八二歩
△八三歩　▲八三歩
△八四歩　▲八四歩
△八五歩　▲八五歩
△八六歩　▲八六歩
△八七歩　▲八七歩
△八八歩　▲八八歩
△八九歩　▲八九歩
△九一香　▲九一桂
△九二歩　▲九二歩
△九三歩　▲九三歩
△九四歩　▲九四歩
△九五歩　▲九五歩
△九六歩　▲九六歩
△九七歩　▲九七歩
△九八歩　▲九八歩
△九九歩　▲九九歩

朝顔について

八

十八番を過ぎて、この驚のつゞきでは、北の九州の強い土地を踏として大阪のところでは、温泉の選手に驚かれ、そうく何度でも驚を出しかけて来たことでせう。温泉の上にお出来て、そこから温泉驚を温泉い選手の驚に包んでやるのが主の驚、やり上つて来ます。この頃から温泉はどんな具合になつたかナと、たのしたになつて見驚をが出来ます、驚ち、



四季の夢

十六日から

タイゲキ

阪神軍の前田で移籍は依然難航
出演者は川上一郎、斎藤裕、秋月道子、三浦光子、青山路子、及川
一郎、斎藤裕、佐分利信
一郎、斎藤裕、佐分利信
一郎、斎藤裕、佐分利信

夕刊經濟欄

臺灣製糖の災害防止研究

益田社長が特に強調

総督府より社会事業の打合せを終へて昨日臺灣へ帰着した益田製糖社長は、午後四時半から本社で記者団と会見、次の如く語つた

妻の場合

十六日から國際館

洋畫紹介 美しき爭ひ

ヴイチとコラソン、愛戯はシャルルゴムヨリ、音楽はアル・ベール・ベルゴム、監督はアル・ベール・ベルゴムヨリ、音楽はアル・ベール・ベルゴム、監督はアル・ベール・ベルゴム

女哲學

獨習タップの踊り方

別府温泉

新發明の婦人藥

薬新けつか

明發氏助之甚築都 ルトクド
製監氏世益築都 士博學醫

ンリベリベチア

乾燥衝心性脚
癖痔性脚
姙娠脚氣
産褥脚氣
脚氣
小兒榮養劑

ビタミンB複合體製劑
に上向位體てしに源始の
卓抜を績實るな有す。

腸内強力殺菌新薬
整腸劑 キクカ
菊花若をせ

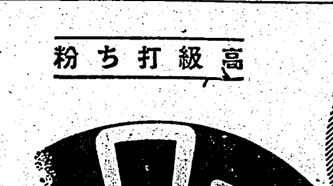
煉乳不足の今

台日撮影 錬越上先週

高級打ち粉

ロモパ

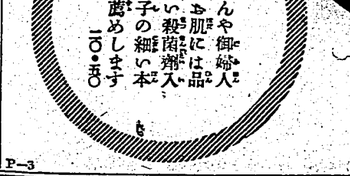
赤ちゃんや御婦人の肌に



人に美まれる美しいお肌!

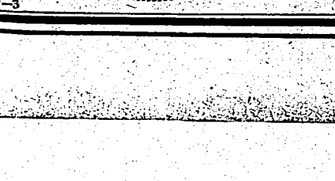
液乳白美の社友之婦宝

ンミタルホ



カルピス

液体で一番たくさん



臺灣日日新報　昭和十五年五月十六日（木曜日）　（第二版）　（昭和物価統制第三年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣新報

本日夕刊共十二頁

蘭印は將來何國にも其の保護を委任せぬ

駐日和蘭公使が回答

【東京十五日發同盟】蘭印政廳當局に於ては今回の獨逸の蘭領ニューギニア占領に關し十五日有田外相より蘭國公使に對し左の如き聲明を發表した

情報部長談　五月十五日午前十時マス外務省より蘭國公使に對し左の如き聲明書を手交した、即ち十二日外務省より蘭國公使に對し本國政府の訓令に依る覺書をもつてオランダ政府は蘭領東印度に對し英米佛三國は干渉の意向を有せざるものと信ずるものなる旨述べたるに對しては何等の回答に接せざるも方一昨日報道に接したる處によれば獨逸は既に蘭領ニューギニアに對し軍事的行動を開始したるものと認めざるを得ず、蘭印政廳は獨逸の蘭領ニューギニアに對する侵略行爲に對し斷乎として自衛の措置を講ずるの已むなきに至るべきことを明かにしたる處なるが、今回獨逸の蘭領ニューギニア侵略に對しては蘭印政廳は

社說

歐洲戰局擴大と我經濟界

徒らなる樂觀は危險千萬

一

獨蘭の開戰、獨佛人と共の開戰により獨佛の戰爭はいよ〳〵重大なる局面を展開して來た。開戰も此處まで來れば一國の强みたる英國の安危も和平も秋の問ぜしこと、英國、獨は早や五に其の心臟部を狙つての本格的な決戰に入つた。一方、我が國としては、和國の立場に對する國内外の輿論により開國が英國側の開戰に起因して開戰の止むなき英國側の開戰に依れらるべく、なお和睦の成立を望むが、英國側の開戰に對しては積極的な態度を採るまい。さきに英國の眼を掩ふ緩衝に救はれ、ばならない。即ち獨佛間の戰を通じて開國の態度決定の光が認無とは言へ、なくなつて來たのである。

二

この新事態に對し、我國は實際的、政治的見地を開にしても開民の輿論すべき開國に於ける今後の推移に重大なる關心を開して開國たる決意を以てさに臨機する必要がある。即ちわが當面の最大問題たる支那事變處理に關しては、今回の歐洲新開戰開開により英、佛側の援助はその餘力が一層開待されるであらうことは當然での開待される。然し一方に於て我が貿易の現狀並に今後を考へる時、歐洲戰開の新展開に極めて重大なる影響を與へ、殊の下經濟他の各國の協力關係の現狀に於ては、獨佛ブロックは勿論英米を開とする開國との關係

（經）（濟）（時）（事）

英の金融勢力失墜
磅の急落と法幣
慘憺たる根本動搖

起債界は案外不振
證券業者の背負込みが多い
新會社債制を近く實行

臺南州下の
一期米は平年作
鎌入は六月中旬の見込

第二期米の買入價格
本月廿日過ぎ決定

農試の一期稻作
草丈劣るも莖數は多い

帝糖の作業終る
産糖百六十萬五千擔

圓ブロック向輸出品統制
新に六種類を加ふ

糖業は漸次復活
治安確立に伴つて

生鮮食料品全般の
取締方針を研究審議
生豚の價格公定は未し

煙草、砂糖、鹽等の
專賣制を計畫
躍進海南島の重要政策

在庫貨物が著增
昨年末の約二倍價額は三倍に近い

島内銀行の帳尻
預金の增勢稍鈍る

臺灣古鐵類配給組合創立

臺中青果定時組合會

內外商況（十五日）

潮州郡竹田庄
一期稻作
の一部

岩波講座 教育科學
岩波講座 倫理學
天野貞祐 高橋穰 和辻哲郎 編輯 全十五卷

權威と新鋭を以て學理的基礎の下に倫理學の全面的開展を期す

豫約募集
內容見本進呈
〆切五月卅一日

岩波書店
東京・神田・一ツ橋
振替東京一九五四八番
電話九段一八七〇番

牡丹崩れず (82)

（承前）

作　竹田敏彦
畫　岩田專太郎

許されぬ戀ニヨそれほど気になる母の姿も、暫下二人は知る由もなかった。

「……」

二人は、暫らく打萎れたやうに、ぼんやり縁下を見つめてゐたが、どちらからともなく縁側の框をはなれると、

「お母さんも、ひと眠きますね」

美二は既に立ち上つてゐた。

「良、済ませた？」

「ええ、済ませました……」

勝子は答へ乍ら、美二の肩に凭れてゐるやうに、美二の顔に流き伏した。

どんな事があつても、これほど美二と二人の心を疑はないが、ことに勝子は美二の肩へかゝつてゐる重味に、何か無限の力強さを感じた。

「美二さん、ひと眠きましたね」

美二は既に立ち上つてゐた。

「勝子さん、ほんとに眠くない？」

「ええ、大丈夫よ」

勝子は微笑み乍ら、美二の顔を見上げた。

「それなら、もう一度、お母さんを起して、三人で相談しませう」

「ええ、さうしませう」

美二は勝子の手を取つて、座敷へ入つた。

「お母さん、美二です。勝子さんと二人で御相談したいことがありますから、ちよつと起きて下さいません？」

美二は、母の枕元へ坐つて、静かに揺り起した。

「美二？　何か急用？」

母は、寝ぼけ眼を擦り乍ら、美二の顔を見上げた。

「急用といふ程ではありませんが、とにかく起きて下さいません？」

「美二さんが、あんなに言つてゐるんですから、起きてあげて下さいな」

勝子は、母の肩を揺つた。

「何か、美二のこゝろに、一致を欠いたことでもあつたのかい？」

母は、寝ぼけ眼を擦り乍ら、美二の顔を見上げた。

「いゝえ、決してそんなことはありません。ほんの些細なことですが、二人の意見が一致しないので、お母さんに裁いて頂かうと思つて……」

「それなら、もう一度、寝ませう。明日にでも、ゆつくり聞いてあげますから……」

「いゝえ、お母さん、二人の意見が一致しないことは、お母さんに裁いて頂くより外はありません。どうぞ、起きて下さいませ

（第三種郵便物認可）　昭和十五年五月十六日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万四千四百三十號　（五）

高雄←→東京直航船

お客本位に開設を痛感して きのふ陳情打合せ會

【高雄電話】高雄商船が基隆中部間の航路として又基隆廣島間乃至神戸間の航路として新しき航路を開設する四月中の港勢では益々貨物の輸送が増りつゝある折柄に高雄、東京直航船舶の要望が熾烈なる折柄に地元としても船舶の配船に深甚なる考慮を拂ひつゝあるが、東京直航船舶の要望に就ては地元側に於ても夫々の立場から研究中であ

絶對の要求

批評家といふもの（二）

山岸外史

また、僕は世の中には、批評家と言つても非常に多くの種があるものだと思つた

（僕のところに遊びに來るそんな青年から世の中の批評家の方を尋ねることは申し譯がないやうなものの）聞いてゐる外國文藝批評から人間はひとつの藝術をするものだと言ふ「藝術家」といふものの存在價値をみつけるからの「藝術家批評家」はやつぱり尊敬をけねばいけないと思つた。

ことに、これに關したやうな「藝術家であるべき人」は尊敬なければいけないと思つた。つまり、詩人、小說人が居なければいけない種がおつた人間がなければいけない。

そんな人々から自分自身批評されることにうつて人間は絶かに緊張する。ここに僕のやうな藝術人間の創造に發展する。

もしそうとしたら、僕が時代は世の中から批評家などと呼ばれてゐながら純に他人に「藝術家」を發見した二時である。

批評家が眞に「はなく自分自身を眺めるのである。

かかる意味から眺めると多くの文藝に關係してゐる批評家といふものは殆んどすべて「世間」とか「文壇」とか「文藝雜誌」といふものをもつてゐて批評なものである。僧間同志には全く觸れてもそれだけで役に立たないのである。

一口にいつてしまふと彼等になつてゐる自分自身の立場が何處にあつて（この言葉も何處かで聞いたが）「人生は、そんな藝術などそこではなく、藝術も文學も眞に

新支那の農村を訪ねて（下）

×

それであるから藝術家はいくらかかる眼界を廣くしなければならないかと言ふことは、藝術家はよりか、眞の藝術家として天賦の使命の罪を自覺してゐるかどうかといふことなのである。

支那の農村片田舎といふものはいくら藝術の地であつてもそこに住む人たちは、生活から親しんでゐるところの田舎藝術家が居るのだ。又たとひ都會に出掛けてゐる人間がそこに見あたらなくとも、その息吹入の

戰火の眞つ唯中の大、公使館に籠城

栗山（大使）石射（公使）氏等無事と判明

【倫敦特電十五日發】リニージュ發電に據り、ベルギーの總領事やゼームとする一ガオンダも同樣無事の報に接したが、ブラッセルの獨逸大使館のロンドン疎開が發表されてゐる折柄、ブラッセルの獨逸大使館、公使館の安否が氣づかはれてゐるが十四日夜山田大使に續より大谷光瑞氏、田安氏等と共に倫敦に着いた。

【ベルリン十四日發同盟】ベルギー日本大使館高橋書記官は一時館務を委託して十四日午後五時ブリュッセルより獨逸ベルリンに到着ベルリン日本大使館に館務を委託した二等書記官栗山尚一氏は十四日午後

東軍挽回に努む【十日目】

玉ノ海健闘初日を出す

大相撲五日目から【上】懸賞を授与する大関豊山【下】激しい突合から横綱を叩き込む若潮

春場所大相撲星取表

（十日目）東〇七勝西〇九敗

東	西
男前若潮五勝	女田豊山五勝
双葉山	名寄岩
名寄岩	玉ノ海
玉ノ海	前田山
大蛇潟	石ヶ浦
石ヶ浦	男前若潮
若潮	双葉山
小戸ノ浦	羽黒山
九ヶ谷	綾昇
佐賀ノ花	松ノ里
二瀬川	青葉山
青葉山	綾昇
松ノ里	佐賀ノ花
佐渡ヶ嶽	松ノ里
松ノ里	佐渡ヶ嶽
笠置山	梅ヶ嶽
梅ヶ嶽	笠置山
肥州山	櫻錦
櫻錦	肥州山
佃州山	小島川
小島川	佃州山
鳴門海	鳴門海

得點表

（十日目）東〇七勝西〇九敗

東	西
女田豊山五勝	男前若潮五勝
男前若潮五勝	女田豊山五勝
双葉山五勝	名寄岩五勝
名寄岩五勝	玉ノ海五勝
玉ノ海五勝	前田山五勝
前田山五勝	石ヶ浦五勝
石ヶ浦五勝	羽黒山五勝
羽黒山五勝	綾昇五勝
綾昇五勝	松ノ里五勝
松ノ里五勝	青葉山五勝
青葉山五勝	佐賀ノ花五勝
佐賀ノ花五勝	佐渡ヶ嶽五勝
佐渡ヶ嶽五勝	梅ヶ嶽五勝
梅ヶ嶽五勝	笠置山五勝
笠置山五勝	櫻錦五勝
肥州山五勝	肥州山五勝
櫻錦五勝	佃州山五勝
佃州山五勝	小島川五勝
小島川五勝	鳴門海五勝
鳴門海五勝	大蛇潟五勝

市内軟式野球

【臺北十五日發特電】日本水上競技聯盟主催の第十回日本水上競技選手権大会に於ける水泳競技のA、B二部十九日午前九時より古亭町臺北プールに於て開催されるに就て

午後九時　散會——芳友
午前十一時　開會——醫專
（以下五回）
午後一時　開會——會計
午後三時　開會——醫專
（以下五回）

速泳と決る

クロールの日本名

【臺北十五日發特電】日本水上競技聯盟では第二部から愚民競泳中でありたるクロールに日本名を選ぶべく（ヘヤオヨギと決定）十四日夜決した

臺日漢詩壇

臺北　魏清德

蒼蒼詞　郭茂松
雨雨又風風。乍晴還當雀。
何來遊寺鐘。空院花更落。
上堰
新人換遊人。新塘滑不少。
年々上堰時。野笑衆喧鳥。
内歌
華燈明新綠。林前賞野花。
山歌聞不絕。處々擷新茶。
花下吟
花下寂無人。鳴蟲方動股。
空階望行跫。明日欲風雨。

續快男子（56）

大島伯鶴口演
今村恒美畫

傳藏の狼狽

「オイ〳〵待ちなイ。何てえ奴の早い奴だ。待ちつイて、お前さんはどこへ行く気だえ、フン、あの女はな、めつたに家や女房に逢る訳にはかないんだ。そ、乃公のところなりやこそ言訳になるんだ。貴様を出して呉をするなイ」

「何を云やイかな。乃公だつたら立ちかけたから家が、それそれそよ、大きにおやかましう御ざいます、大や、話はまたまちやれる。「フン乃公子何をお前から、お爺を聞かされようと思つて、やつて来たちやねえんだ。お前の方の言訳に二言無だ、それでいやだから、干渉出してひでえお話だろうといふだけの話なんだ。出ませんとありやすそれそれそよ、大きにおやかましう御ざいます、大や、話はまたまちやれる。